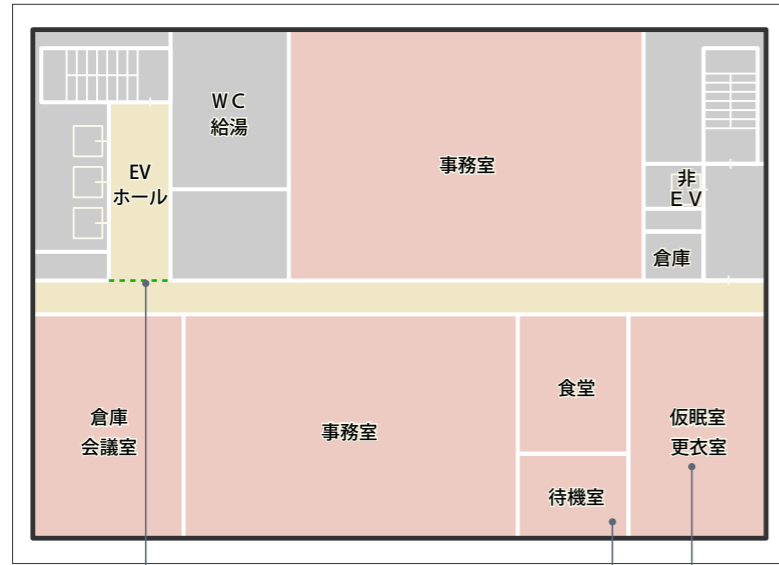


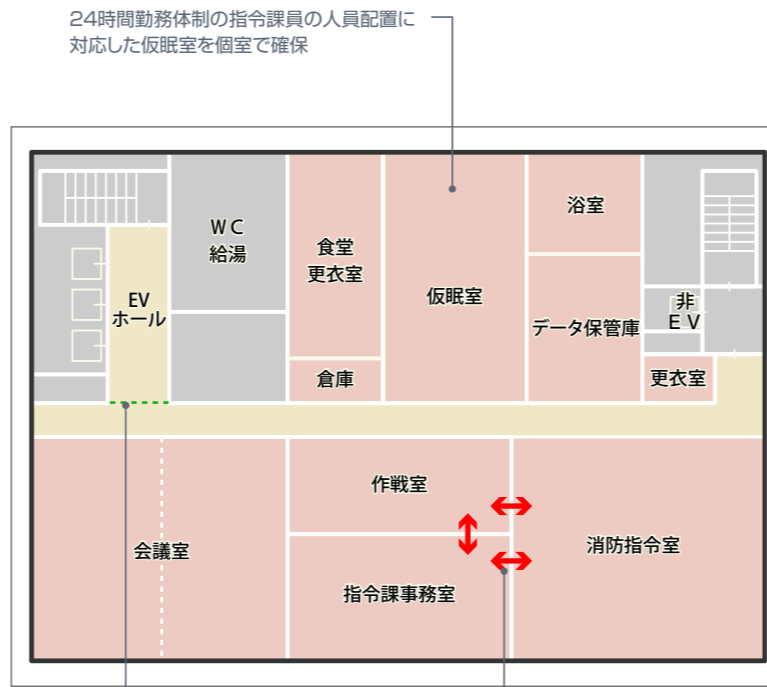
施設計画(案) 計画図(2/2)



階段・EVホールでセキュリティラインを形成し、閉庁時及び危機事案対応時の消防本部フロアの「独立された空間」を実現

緊急出勤を考慮し、待機室・仮眠室は非常用EV、階段近くに配置

2 F 平面計画 (消防本部)

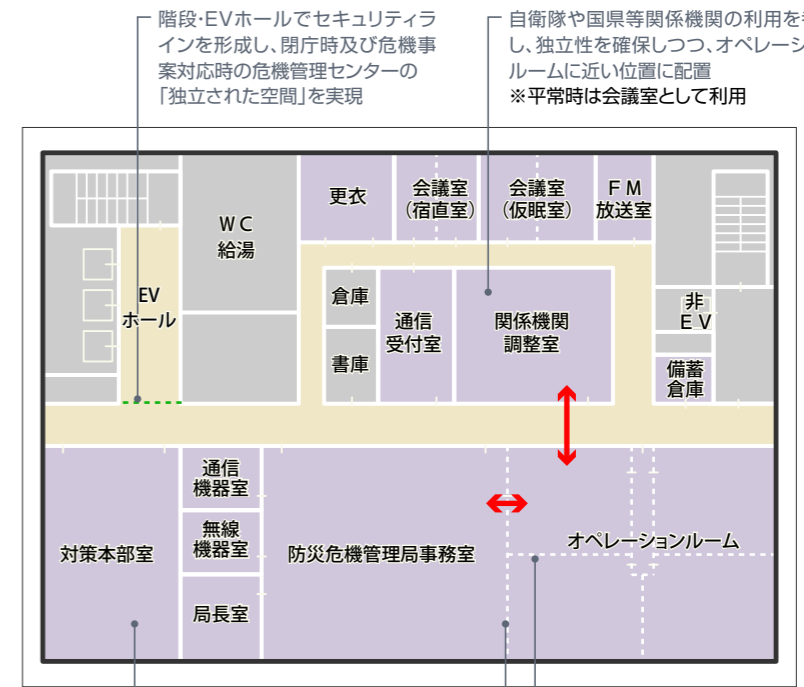


階段・EVホールでセキュリティラインを形成し、閉庁時及び危機事案対応時の消防本部フロアの「独立された空間」を実現

24時間勤務体制の指令課員の人員配置に対応した仮眠室を個室で確保

消防指令室・作戦室・指令課事務室の連携を確保

3 F 平面計画 (消防本部)



事務室に隣接した位置に確保 ※平常時は会議室として利用

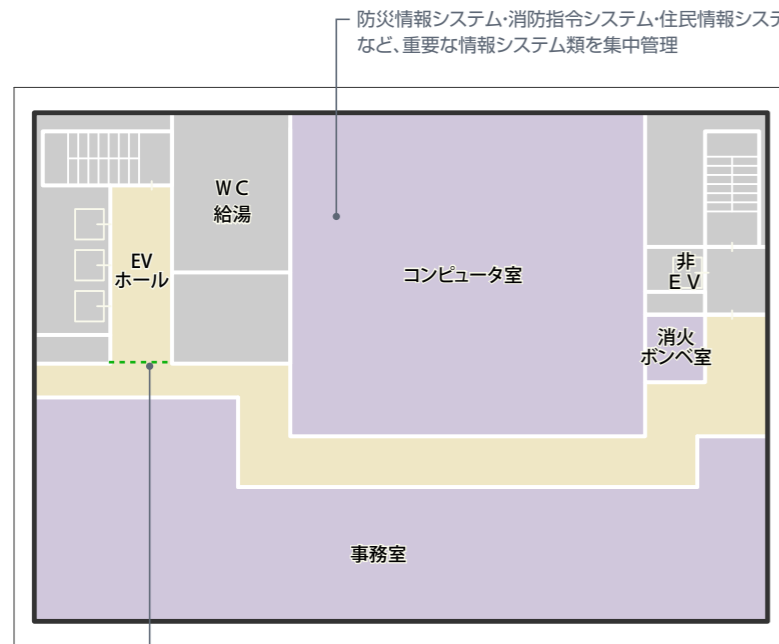
移動間仕切りにより、執務空間とオペレーションルームの連続した空間を確保

移動間仕切りにより、班別の対応や災害規模に応じた利用に対応 ※平常時は会議室として利用

階段・EVホールでセキュリティラインを形成し、閉庁時及び危機事案対応時の危機管理センターの「独立された空間」を実現

自衛隊や国県等関係機関の利用を考慮し、独立性を確保しつつ、オペレーションルームに近い位置に配置 ※平常時は会議室として利用

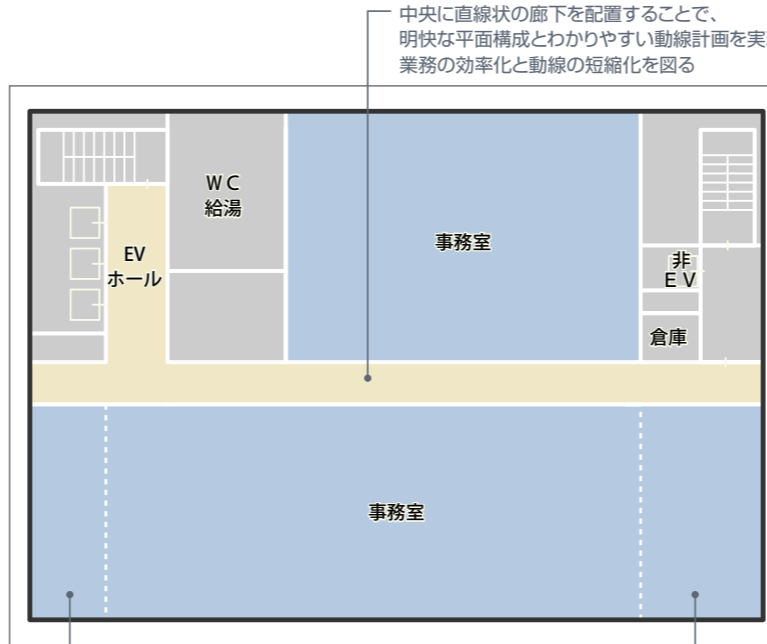
4 F 平面計画 (危機管理センター)



階段・EVホールでセキュリティライン(アクセス管理等)を形成し、常時、情報管理部・コンピュータ室の「独立された空間」を実現

防災情報システム・消防指令システム・住民情報システムなど、重要な情報システム類を集中管理

5 F 平面計画 (情報管理部・コンピュータ室)

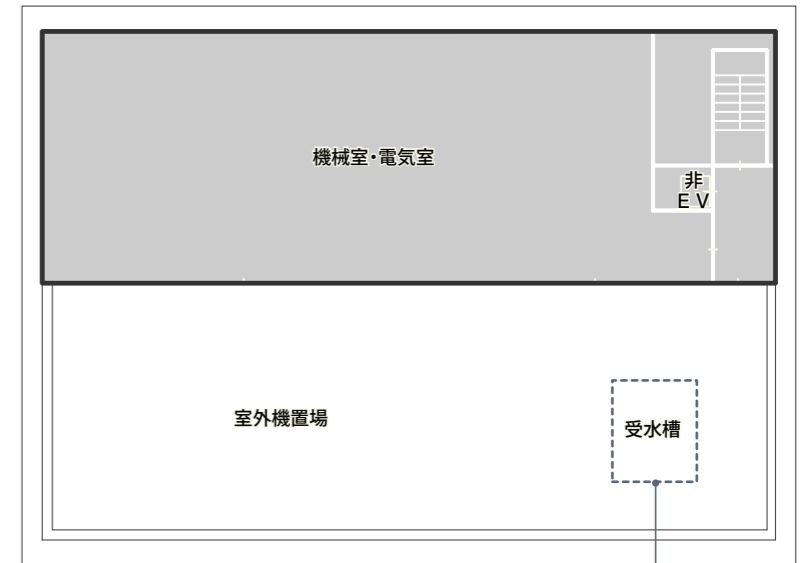


東西にヘビーデューティーゾーン\*を設けることで、中央にまとまった執務空間を確保

中央に直線状の廊下を配置することで、明快な平面構成とわかりやすい動線計画を実現 業務の効率化と動線の短縮化を図る

\* 書庫などの集中荷重にも耐えられるよう床にかかる積載荷重を大きく想定し、あらかじめ補強された区域

6~11 F 平面計画 (上下水道局・土木局・都市局)



高置水槽とすることで、電気が無くても受水槽内の水を使用することが可能

12 F 平面計画 (機械室・電気室)

